BEST AVAILABLE COPY

公開実用 昭和57-72680



実用新案登録願

昭和 55年 10月 20日 一

特許庁長官 島田 春樹 殿

1. 考案の名称

スピーカ装置

2. 考 案 者

マリガナ トウカイ ヤ ブマチキタタンダ 住 所 愛知県東海市養父町北反田22

3. 実用新案登録出願人

ァリガナ トウカイ ヤブマチキタタンダ 住 所 愛知県東海市養父町北反田22

フリガナ イノ ウエ ケン ソウ 氏 名(名称) 井 上 健 三 (低か1名)

(国 群)

4. 代 理 人 〒 458

住 所 名古屋市中村区権町1番3号 地産ビル1104

電話<052>451-1060(代) 課題。

氏 名 (7966) 弁理士 神 戸 典 和 <u>四</u>戸門 (ほか1名) 石・二

5. 添付書類の目録

(1) 明 細 魯 1 2 2 3

(2) 図 面 1通

(3) 顯咨副本 1通

(4) 委任 状各1通方文(計2通亿人)



55 149459 7268 2

- 1. 考案の名称
 - スピーカ装置
- 2. 実用新案登録請求の範囲

スピーカと、該スピーカを固定するとともにスピーカの裏面を空室を介して全体的に獲うスピーカキヤビネットと、該空室内に固設され前記スピーカから発生した音を吸収する吸音材とを含むスピーカ装置において、

前記吸音材として木炭を用いたことを特徴とするスピーカ装置。

3. 考案の詳細な説明

本考案は、音質を改善するための吸音材として 木炭をスピーカキャビネット内に備えたスピーカ 装置に関するものである。

スピーカは振動板を振動させ空間に疎密波を作ることによつて音を発生させるので、その振動板の正面側へ放射された音と裏面側へ放射された音との位相は正反対となる。この裏面側へ放射された音が正面側へ放射された音に混入すると両名が

公開実用 昭和57- 72680

本考案者は、以上の事情を背景として鋭意研究を重ねた結果、前記空室内に固設する吸音材として未炭を用いると極めて音質が高められるという意外な事実を見い出した。本考案は以上の知見に基づいて為されたものである。

すなわち、本考案は、スピーカと、該スピーカ

を固定するとともにスピーカ裏面を空室を介して 全体的に覆 5 スピーカキャビネットと、該空室内 に固設され前記スピーカから発生した音を吸収す る吸音材とを含むスピーカ装置において、前記吸 音材として木炭を用いることを特徴とする。

前記スピーカボックス内へ木炭を固設する場合には、通常のボンドによる接着方法が用いられる。 この木炭は、端面又は側面のいずれが接着されていてもよい。また、木炭の接着位置はスピーカに

公開実用 昭和57— 72680

接近する程数音効果が大きく、木炭の接着量が多 い程吸音効果が大きくなる。

以下、本考案の一実施例を示す図面に基づいて 詳細に説明する。

第1図において、スピーカ装置 2は、空室 4を備えた木製のスピーカキャビネット 6 と、このスピーカキャビネット 6 との前面に設けられた穴 8 に嵌合してその周囲が固定されたスピーカ 1 0 とから構成されている。空室 4 は密閉構造となってかり、空室 4 の内面には複数の木炭 1 2 が固設されている。木炭 1 2 は、定寸の安価を市販品そのままの形式であつてその端面を木工ボンド等の接着割 1 4 で接着され前定されている。

したがつて、スピーカ10から発生し空室4内へ放射された不要な音は、該内室4内に固設された複数の木炭12によつて効率良く吸収されるので、不快な箱鳴りが防止されるとともにスピーカ10の前面側へ放射された音は空室4内へ放射された音に干渉されず歪や濁りのない高い音質が得られるのである。この吸音効果は従来困難であつ

た低音帯域においても顕著である。

このように、吸音材として木炭を使用すれば、 吸音材の価格が従来の吸音材より格段に安価となり、しかも特に低音帯域においても高い音質が得られるのであり、比較的小型のスピーカキャビネットを使用しても充分良質の音が得られるのである。

次に、本考案の他の実施例について説明する。 第2図において、スピーカ装置 2 2は、空室 2 4 を備えた木製の位相反転型キャビネット 2 6 と、 このキャビネット 2 6 の前面に設けられた穴 2 8 に低合してその周囲に固定されたスピーカ 3 0 と から構成されている。空室 2 4 の内面には複数の 木炭 3 2 が、その側面を粘着層 3 4 に接着されて 固定されている。この粘着層 3 4 は、たとえば両 面粘着テーブによつて形成され、押圧されること によつて即時木炭が固定される利点がある。

尚、上述したのはあくまでも本考案の一実施別であり、本考案は決してこれに限定して解釈されるべきではないことは言うまでもない。

公開実用 昭和57— 72680

たとえば、スピーカキャビネットの内室に設けられる木炭の形状は、個々に接着され得るものだけではなく、第3図に示される木炭層のように、木炭片40及び木炭粉42が相互に接着剤によって板状に結合されたものでもよい。この場合、形状が小さいくず木炭を使用できるので更に安価となり、收音板としての形状が一定するので取扱いが簡便となる利点がある。

以上詳記したように、本考案によれば、安価で 改音特性の大きい木炭を吸音材として使用するの で、不快な箱鳴りが防止され、特に低音帯域を含 む音質が高く小型で安価なスピーカ装置を提供し 得る優れた効果を生ずるのである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例を示すスピーカ装置の断面図である。第2図は本考案の他の実施例を示すスピーカ装置の断面図である。第3図は本考案に使用する吸音材の形状に関する他の実施例を示す説明図である。

4 . 2 4 : 空室

6 . 2 6 . スピーカキャビネット

1 0 . 3 0 : スピーカ

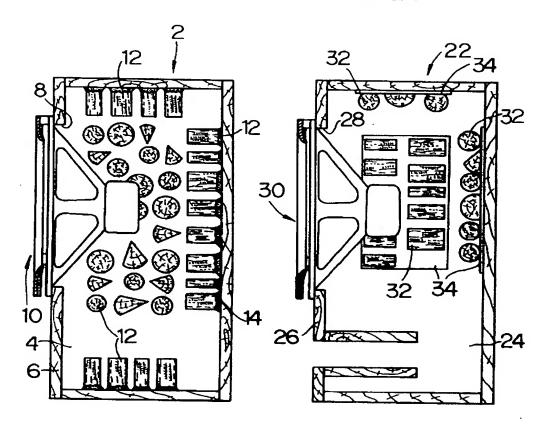
12.32:吸音材(木炭)

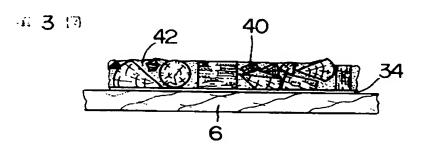
出顧人 井 上 健 .___ 同 文 松 敨 彦 代理人 弁埋士 神 戸 典 和 盲 弁理士 三千雄 中 鳥

公開実用 昭和57-72680

第 1 次

第 2 図





686

出願人 井上 健 三(ほか)名) 代理人 弁理士 神戸典和(ほか)名)



6 前記以外の 発頻者 出願人または代理人

(1) 発明者

任一所

八 名

fii off

IC %

(2) 出願人

(NE ORE

K %

(3) 代理人

K %

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
\square blurred or illegible text or drawing
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
🖾 COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
\square reference(s) or exhibit(s) submitted are poor quality
OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.